



## 佐賀県中小企業家同友会見学会で化学部門の教員らが 県内企業2社を訪問

### 【概要】

令和2年1月17日(金)に、佐賀県中小企業家同友会見学会が開催され、化学部門の教員らが(有)谷田建設と(株)IMARIを訪問しました。

### 【本文】

令和2年1月17日(金)に佐藤三郎理工学部客員研究員・コーディネーターの呼び掛けにより、化学部門の教員7名とリージョナルイノベーションセンターのURA3名、および知財コーディネーター1名の計12名で、佐賀県中小企業家同友会の会員企業である(有)谷田建設とIMARI(株)を訪問し、見学と討論を行いました。

谷田建設とIMARIの2社に共通している点は、中小企業でありながら事業継承が順調に進んでおり、堅実に事業を展開されていることでした。谷田建設では、まず本社で谷田政行社長と3年後に事業継承を行う谷田将拓専務による事業説明と施設見学が行われ、谷田建設の特長と抱える問題点が示されました。その後、織島事業所に移動し、産廃の分別と梱包の現場を視察しました。昼食後、相知の最終処分場に移動し、視察を行い、同行した谷田洸次サブリーダーより説明を受けました。さらに近くある水草処理場の視察も行いました。事業における問題点も明示され、本社や各事業所で様々な質問がなされ、多くの討論がなされました。

IMARIでは、29歳の福井社長から、強化段ボールとポリウレアの2つの事業について説明がなされ、ここでも多くの質問がなされました。その後、2つの事業に関して段ボールの裁断工程やポリウレアの吹き付けの工程見学が行われました。ホームページ上の情報だけでは思い至らない事業展開がなされ、また佐賀大学が協力できる可能性のある多くの問題が提起され、参加者は大いに刺激されました。

本見学会は化学系の共同研究への展開が主な目的でしたが、短時間のうちに多くの交流と議論がなされました。化学以外にも多くの分野で協力できそうな事案がありました。今回の訪問でサンプル提供を受けた教員もあり、今後の展開が期待されます。



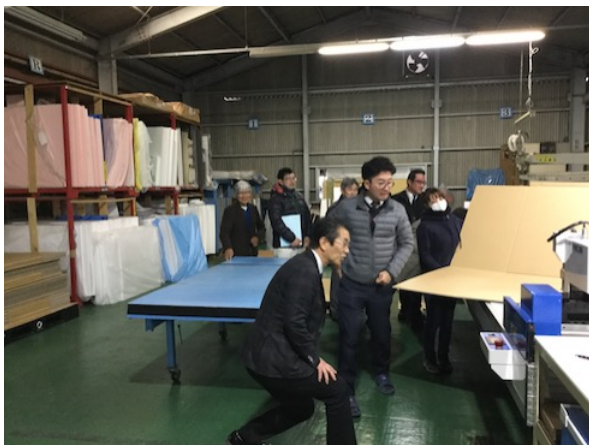
谷田建設織島事業所の視察



谷田建設最終処分場の視察



谷田建設水草処理施設の視察について説明する谷田将拓専務



IMARI の強化段ボール製造工程の視察



IMARI のポリウレタ吹きつけ工程の視察



IMARI のポリウレタ製品の説明をする福井社長